

水稻生育情報 (No.6)

平成29年7月26日
県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

水稻作付期間を通して平年に比べ、気温は高く、日照時間は多く、降水量は少ない傾向です。

管内のコシヒカリの生育状況は下表のとおりで、平年に比べ、草丈は高く、莖数は並み～やや多く、葉色は並み～淡くなっています。生育は平年より3～5日進んでいます。

表1 水稻定点調査結果 (7月20日時点)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	莖数 本/m ²	葉色 葉色版 SPAD値	幼穂長 mm	出穂予測日 (月/日)
筑西市	5月2日	65	102	520	3.7 31.1	出穂始め	7/22
一本松	(5月2日)	(63)	(92)	(513)	(3.7) (28.9)	(166)	(7/27)
下妻市	5月3日	59	95	463	3.3 29.7	出穂始め	7/22
加養	(5月1日)	(44)	(90)	(449)	(3.5) (30.0)	(149)	(7/25)
桜川市	5月16日	53	90	407	3.5 31.8	102	7/30
元岩瀬	(5月11日)	(59)	(87)	(409)	(3.6) (30.8)	(46)	(8/2)
桜川市	5月5日	52	95	391	3.2 30.0	220	7/25
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(90)	(385)	(3.6) (29.8)	(142)	(7/28)

()内は平成24～28年(5カ年平均値) ※桜川市真壁町飯塚は過去4カ年の平均値
注)出穂日は、今後の天候により前後する場合があります。

【これからの栽培管理のポイント】

・出穂期以降の根の生育と水管理について

土壌中の酸素が少ないと、根腐れを起こしやすくなります。登熟期間中は継続的な湛水は避け、根に水分と酸素を交互に供給する間断かん水を実施しましょう。

間断かん水は図のように入水と自然落水を交互に繰り返します。収穫前の落水は「コシヒカリ」の場合、出穂30日後以降に行います。

早期の落水や間断かん水時に田面が白くなるほど乾かすと乳白米などの障害粒や登熟不良を招きます。健全な根を育て、充実した穂を实らせましょう。

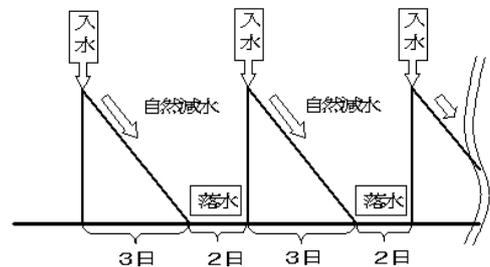


図1 間断かん水の一例

・適期収穫について

早刈りは青米が多く、千粒重が軽くなり、収量が低下します。逆に刈り遅れは胴割粒などの被害粒や茶米などの着色米の発生の要因となります。

出穂期から収穫までの日数は35～40日程度となります。この日数はあくまでも目安なので、最終的に圃場で直接籾の色(帯緑籾率)を確認して適期収穫に努めて下さい。収穫適期は帯緑籾率が10～5%程度(一穂あたり約6粒前後)の時です。

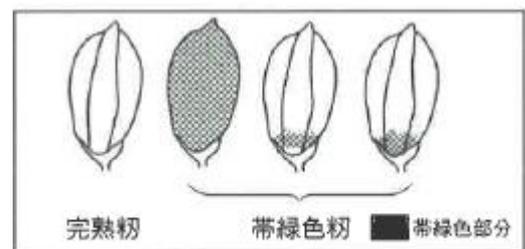


図2 帯緑籾の見分け方